資料4

第3期　米原市保健事業実施計画（データヘルス計画）の中間見直しに向けて

1 「データヘルス計画」とは

特定健康診査結果やレセプトデータ等の**健康・医療情報を活用**して、PDCA（Plan　Do　Check　Action）**サイクル**に沿った**効果的**かつ**効率的**な保健事業の実施を図るための保健事業の実施計画。生活習慣病の予防を通じ、**被保険者の健康増進**と**健康寿命の延伸**を図ることで、結果として**医療費の適正化**および**国保の財政基盤強化**を図る。

「特定健康診査等実施計画」とは

特定健康診査および特定保健指導等の**具体的な実施方法を定める**ことにより、**事業の効率的・効果的な実施**および評価を行うため作成する計画

2 【計画期間】（６年 間）

第3期データヘルス計画、第4期特定健診等実施計画期間

令和 6（2024）年度 → 保健事業の実施 → 令和8（2026）年度 中間評価実施 → 保健事業の実施 → 令和 11（2029）年度 最終評価実施

第3期データヘルス計画および第4期特定健康診査等実施計画の計画期間は令和6年度から令和 11 年度までの6年間です。
計画の最終年度となる令和 11 年度にデータヘルス計画全体の評価、見直しを行うとともに、中間年度となる今年度（令和8年度）に進捗確認のための中間評価を行い、必要に応じて目標値や計画の見直しを行います。なお、評価に当たっては、米原市国民健康保健運営協議会で検討いただくとともに、国保連合会に設置された保健事業支援・評価委員会を活用します。

3 健康課題

1. **死亡、医療の状況から虚血性心疾患の重症化がみられる**
2. 75 歳未満で脳血管疾患を併せ持つ介護認定者が4割あり重症化がみられる
3. 糖尿病性腎症による透析導入者があり、重症化がみられる
4. 糖・血圧・脂質の有所見率や未治療率が増加し、重症化してからの受診の可能性が高い
5. メタボリックシンドローム該当者が増加し、心血管病発症者が増加する可能性がある
6. 40～50 歳代の特定健診受診率が低い

4 データヘルス計画における個別保健事業

データヘルス計画の目標を達成するために、以下の個別保健事業を実施

区分	事業名	対応する課題
重症化予防	虚血性心疾患重症化予防対策（主に心電図異常者やLDL高値者に対する支援）	1、4
重症化予防	脳血管疾患重症化予防対策（主に高血圧者、心房細動者に対する支援）	2、4
重症化予防	糖尿病性腎症重症化予防対策（主に高血糖者に対する対策）	3、4
発症予防	肥満・メタボリックシンドローム重症化予防対策	5
発症予防	特定健診受診率向上対策	6
発症予防	生涯を通じた生活習慣病予防、集団への啓発	—
その他	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業	—

5 計画の評価　健康寿命の延伸に向けて短期目標・中長期目標を設定

短期目標の指標①　脂質異常症・高血圧・糖尿病の有所見率の減少

a：改善している　b：変わらない　c：悪化している　d：評価困難

評価項目	計画策定時 R4（2022）	確定値 R5（2023）	確定値 R6（2024）	確定値 R7（2025）	第3期計画 目標R11（2029）	評価
LDL有所見（160以上）率	7.3%	8.0%	6.7%	6.1%	6.9%以下	a
未治療LDL有所見（160以上）の医療機関受診率	28.8%	40.7%	48.3%	45.1%	30.3%以上	a
血圧有所見（160/100以上）率	8.3%	6.6%	6.1%	6.0%	7.8%以下	a
糖代謝有所見（HbA1c7.0以上）率	4.4%	4.1%	4.1%	4.4%	4.1%以下	b

【主な取組】
- ●保健師・管理栄養士による、訪問や面接等による保健指導の実施
- ●保健指導の力量形成のため、外部講師による保健指導研修会開催
- ●家庭血圧測定推進のために血圧手帳の配布、血圧計の貸し出し　等

短期目標の指標②　メタボリックシンドロームの減少・特定健診受診率の向上

a：改善している　b：変わらない　c：悪化している　d：評価困難

評価項目	計画策定時 R4（2022）	確定値 R5（2023）	確定値 R6（2024）	速報値※ R7（2025）	第3期計画 目標R11（2029）	評価
特定保健指導対象者の出現率	10.3%	9.8%	8.7%	8.9%	9.7%以下	a
特定保健指導実施率（終了率）	55.2%	67.7%	65.4%	57.3%	60%以上	a
特定健診受診率	47.6%	47.5%	46.8%	47.0%	60%以上	b
40歳代特定健診受診率の向上	26.4%	29.6%	31.9%	28.3%	30%以上	a

※R8.７月時点

【主な取組】
- ●特定健診の受診料無料、土日実施、ネット予約の実施など受診しやすい体制
- ●商工会の健診や事業主健診の受診者へ健診結果提供を依頼
- ●市内医療機関への保健事業の説明と受診勧奨依頼　等

中長期目標の指標　虚血性心疾患・脳血管疾患の発症・重症化や糖尿病性腎症による透析導入の予防

a：改善している　b：変わらない　c：悪化している　d：評価困難

評価項目	計画策定時 R4（2022）	確定値 R5（2023）	確定値 R6（2024）	確定値 R7（2025）	第３期計画 目標R11（2029）	評価
虚血性心疾患での80万円以上の高額レセプト人数	22人	20人	17人	16人	5%以上の減少（20人以下）	a
脳血管疾患（脳卒中）を併せ持つ75歳未満の要介護認定者の人数	70人	59人	60人	59人	5%以上の減少（66人以下）	a
人工透析患者のうち糖尿病性腎症の人数	７人	10人	９人	７人	5%以上の減少（６人以下）	c

【主な取組】
- ●健診内容の充実：心電図検査の全数実施。二次健診（頸部エコー検査等）の実施
- ●重症化リスクのある方（特定保健指導対象者以外）への保健指導の実施
- ●医療機関との連携：市内医療機関と市の現状や健康課題の共有、腎専門医紹介基準の人について早期に腎専門医との連携を図る　等

【その他の取組】

生涯を通じた生活習慣病予防 集団への啓発

- ●ベジチェック®を活用した野菜摂取促進啓発
- ●米原市 おいしく減塩プロジェクトの推進　等



高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

高齢者の特性に応じた切れ目ない支援を行うため、後期高齢者への保健事業を実施

6 【中間評価・見直しの流れ】

6月 県保健事業支援・評価委員会で助言を受ける
→ 8月 国保運営協議会で説明・検討
→ 9～10月 データ分析、保健事業への助言（ﾍﾙｽﾎﾟｰﾄﾗﾎﾞ）
→ 12月 国保運営協議会で説明・検討
→ 3月 完成予定

第３期計画の中間評価

必要に応じて計画見直し（目標値・事業内容）